

Vision実現に向けた主要計画一覧(2022～)

カテゴリ	成果	目標	計画
■【Ⅰ. 教育】			
	■ 1.高大接続の円滑化		
	■ 定員管理		R4(新)各学部、学科、研究科の定員充足
	■ 入試判定基準の見直しによるAPの実質化(大学教育に相応しい学生の選抜)		入試区分別の成績(GPA含む)推移・学修態度の検証 総合型選抜、学校推薦型選抜等、推薦入試の妥当性についての検証
	■ 総合型選抜、学校推薦型選抜入学決定者の勉強習慣獲得と弱点克服(入口から中身への円滑移行)		奨学金(入学金・授業料減免)による優秀者確保 体系的な入学前準備教育プログラムの構築(e-ラーニングを活用した事前課題及びスクーリングの開講)
	■ 本学の魅力を伝える外部アプローチ		附属高校への出前講義の実施 高校訪問・予備校訪問の継続・強化
	■ 2.教育課程の改善(DPの質保証)		
	■ 歯学部:歯科医師国家試験合格率の向上を目指したカリキュラム改革		国家試験支援体制の整備(専門スタッフの配置等) 試験回数や内容の効果検証による効率化
	■ 文学部:学修意欲(モチベーション)を引き出す教育改革		実学志向の課題解決型アクティブラーニングの導入 企業人(地域との連携)の演習講義の導入 個々の学生に合わせた多様なキャリア支援の実施 学生の社会貢献活動の正課の教育課程化
	■ 短大部:国家試験合格率の向上		R4(新)歯科衛生士国家試験の合格率向上 R4(新)介護福祉士国家試験の合格率向上
	■ 優秀な学生を伸ばす教育的戦略		優秀な学生向けの特別プログラムの導入 SA(スチューデント・アシスタント)、TA(ティーチング・アシスタント)制度の導入と活用
	■ 学位の質保証PDCAサイクルの構築		カリキュラムポリシーに基づいたカリキュラムの検証と見直し シラバス記載内容の充実と整合性の検証 ポートフォリオの導入による学修成果の可視化 授業評価制度の見直し・具体的な活用方法 IR機能の拡充と活動強化 GPA制度による進級・卒業判定、退学勧告への活用 FDの実質化 就職企業・卒業生追跡アンケートの実施(地域や職種分析も)
	■ 3.学生支援の充実		
	■ 中途退学理由の解明と対策の実施(集中的な退学者対策)		個人面談・オフィスアワーの活用 入学試験方法と中途退学者との相関関係(歯学部は国試合格率も)分析と対策 きめ細かい中退ケア方策の策定 これまでなされてきた中退対策の成果検証と改善方策
	■ 学生一人ひとりが安心してできる精神的拠り所の整備(教職連携支援体制の構築)		学生支援に関する包括的なポリシーの策定と専門スタッフの配置・育成 意欲ある学生の成長を促す奨学金制度の整備 努力を続ける学生に対する奨学金制度の拡充 学内ワークスタディの拡充等
	■ 学生に関する各種記録のデータベース化による情報共有・支援円滑化		学生面談記録のデータベース化(教員・学生支援課) 進路指導記録のデータベース化(教員・キャリア支援課) 実習巡回記録のデータベース化(短大教員)
	■ 課外活動の振興を目指した環境整備・予算配分		課外活動の発表・表彰制度の導入
	■ 愛校心・帰属意識を高める工夫		大学行事(イベント)や広報への学生の積極的な参画

カテゴリ	成果	目標	計画
■【Ⅱ. 研究】			
	■ 1.学部の枠を超えた学際的研究環境の構築		
	■ 研究意欲の喚起・推進		研究・教育業績と連動した研究費の配分の見直し(助教以上科研費申請なしで研究費減額) 教員の年次研究計画の作成と審査の実質化 URAの配置など、科研費申請の推進指導、サポート体制の強化 附置研究所の活動方針明確化、サポート体制強化
	■ 研究業績の学内外共有とマッチング機能による共同研究推進		教員の研究業績のデータベース化(機関リポジトリの導入) 企業や海外大学との共同研究

カテゴリ	成果	目標	計画
■【Ⅲ. 医療】			
	■ 1.社会変化に伴う医療ニーズの多様化・高度化を見据えた改革によって、地域の健康寿命の延伸に貢献する		
	■ 患者動線に配慮した歯科診療機能の配置等による利便性向上と診療効率化		患者動線に配慮した歯科診療機能の配置等による利便性向上 医療スタッフ動線や設備数・配置等の最適化による診療効率化
	■ 病院内に地域連携室を設置し、地元の医療機関や歯科医師会と連携した地域医療ネットワークを構築		横浜市の中核病院である済生会横浜市東部病院や歯科医師会と連携し、周術期の口腔ケア機能を拡充 障がいを抱える患者様を対象とした、日帰りの全身麻酔下歯科治療の実施体制を強化 超高齢化社会における歯科総合病院の特徴を活かした質の高い訪問歯科診療体制を構築

カテゴリ	成果	目標	計画
■【Ⅳ. 社会貢献】			
	■ 1.地域(住民・行政)と總持寺、本学の3者が一体となった西口エリアの再開発(街づくり)		街づくり・地域活性化のためのコンソーシアムの形成と運営 地域(住民・行政)並びに總持寺と連携した事業やイベントの実施
	■ 2.地域ニーズと学内資源(文学・健康医療・子育て支援・施設)のマッチング強化		■ 本学の強みを生かした地域社会の子育て支援事業の拡充 地域の子育て支援の拠点形成 ■ 文学部・歯学部・短大部の知を活かした生涯学習の再構築 地域ニーズのリサーチと本学の特徴を活かした生涯学習の在り方を検討 ■ 歯学部及び附属病院を生かした地域社会の健康福祉の増進 歯科医師会や地元歯科医師と連携した地域医療ネットワーク構築 訪問歯科診療等、社会ニーズを踏まえた地域医療の提供

カテゴリ	成果	目標	計画
■【Ⅴ. 大学運営】			
	■ 1.組織運営の高度化		
	■ 学園(大学)のあるべき姿・将来像の明確化		学園(大学)の将来像を設計(マスタープラン) 将来像を実現するための中長期計画(100周年含)の策定
	■ 効率的な組織づくりによるガバナンスの質向上		外部評価委員会などの多様なステークホルダーから意見を聴取する仕組みの構築 定期的なUD開催による将来像と中長期計画の全学的な議論・共有・浸透
	■ 学内情報共有の円滑化		大学運営協議会の設置・運用などによる他学部・他部署の教職員間の情報交換 業務支援・教育支援のためのインフラ(各種システム)の運用強化・利便性向上
	■ 広報活動・情報発信の戦略的な取り組み		広報部の設置による学内外の情報発信一元化 HPで学内外に向けた積極的教員紹介 動画で教育研究の様子を公開(大学の魅力の見える化) 各HP(大学・学部・病院)の一体的なりニューアルと逐次更新による情報発信力強化 SNSを活用したリアルタイム情報発信強化 マスコットキャラクターの活用促進
	■ 教員組織の質向上		教員の評価・処遇の公平性確保 職位に相応しい採用要件(資格・業績等)の明文化 文学部教員組織のST比の改善(学科間の不均衡是正) 大学として求める教員像・要件の明確化 教員組織の編制方針の策定・運用(業績・年齢・男女比等の不均衡是正)
	■ 職員組織の質向上		大学として求める職員像(資質・能力)の明確化 職員の人材育成方針の策定・運用 職員の評価・処遇の公平性確保(脱年功制) 組織再編と各部門における職務分掌の見直し・明確化 勤怠・出張・交通費等管理の効率化 採用要件(資格・能力等)の明文化と公募による優秀な人材確保
	■ 2.経営基盤の強化		
	■ 収支バランスの回復に向けた財政運営		将来像に合わせた中長期財政計画の策定 費用対効果を意識した事業の精査・効率化 周辺業務の非専任化やアウトソーシングの推進、事業法人化 ホール、運動場、会議室、空き教室等大学保有施設の外部有効利用 病院(医療)収入の増加と支出の抑制
	■ 3.同窓会との連携強化		
	■ 同窓会と連携した学生支援や大学運営		R4(新)同窓会と在学生のコミュニケーション強化
	■ 同窓会と協同で行うイベント・学生募集		ホームカミングデーの開催 同窓生の優遇措置(現在は歯学部のみ実施)
	■ 4.機能的で心地よいキャンパスの再構築		
	■ 地域や街の文化と融合したキャンパス景観づくり		仏教の魅力を伝える教育機能・文化施設の整備 学生の憩いの場(カフェ・ラウンジ・広場)がある居心地の良いキャンパス作り 誰もが安心して過ごせるバリアフリー化やセキュリティ強化 機器・設備の統一化・標準化による維持・管理の効率化
	■ 図書館等での効果的な学修空間づくり		アクティブラーニングを促すフレキシブルな学習環境整備 図書館などの利便性向上による利用率拡大 グループ学習エリアなどの勉強しやすい空間の拡充
	■ 環境及び防災に配慮した機能の整備		横浜市・總持寺と連携した防災機能の強化 省エネ化と太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用推進